

合作备忘录

協力覚書

협력비망록

第二届 东北亚标准合作研讨会

第二回東北亞標準協力セミナー

제 2 회 동북아 표준화 협력 세미나

中国北京 2003 年 10 月 31 日

中国北京 2003 年 10 月 31 日

중국 북경 2003 년 10 월 31 일

中日韓 第二回東北亜標準協力セミナー（北京 2003） 協力覚書

2003年10月30日から31日まで、中国、日本、韓国の三国政府標準化機構と非政府標準化機構は北京において“中日韓 第二回標準協力セミナー”を開きました。該当セミナーは三つの部分から成り立っています。第一部分は、タイトル発言で、第二部分は、トピック相談で、第三部分は、中日韓の三国政府代表と非政府代表との間のトップ・レベル会談です。

第三部分においては、三国の代表は前回のセミナーにおいて達成された協議の執行し方を通告し、また、新しい協力トピックについて意見を交換して、次のような協議を出しました。

1、高齢化老人、障害者標準を共同制定

三国はこの項目について協力し事業を展開することに賛意を示しました。三国はそれぞれ、三名ずつの専門家を指定し、事業グループを作らせます。作業言語は英語にして、日本規格協会によって秘書処業務を担当することを決めました。

2、標準の著作権問題

三国はこの項目について、情報の共有に同意しました。本格的な作業グループを設立する前に、それぞれ一人の連絡者を指定し、今のところ、まず日本規格協会によって秘書処の業務を担当します。

3、標準化専門語「データベース」の問題

三国はこの項目について、引続いて協力することに同意しました。それぞれ、一人の専門家を指定し、項目連絡者とします。2002年からの段階的な成果として、まず、「中、日、韓、英の四国言語標準化専門語辞典」を出版する予定です。相変わらず、日本規格協会によって、秘書処の業務を担当します。

4、T-II型受け皿標準の協力

三国はこの項目について、協力することに賛意を示しました。それぞれ、専門家を指定し、作業グループを作らせます。韓国標準協会によって、秘書処の業務を担当します。

5、東北亜三国標準協力強化方法方案

三国はこの項目について、協力することに同意しました。それぞれ、連絡者を指定します。今のところ、まず、韓国標準化協会によって、秘書処の業務を担います。

6、標準化人材育成計画

三国はこの項目について、協力することに賛意を示しました。それぞれ、連絡者を指定し、如何に協力していくべきかについて協議します。今の

ところ、まず、中国標準化協会によって、秘書処の業務を担います。

7、中日韓三国公共情報図型符号を協調する標準と国際標準共同提案についての研究

三国はこの項目について、協力することに同意しました。それぞれ、連絡者を指定します。今のところ、まず、中国標準化協会によって、秘書処の業務を担います。

8、標準化発展戦略と標準化体系

三国はこの項目について、情報交換することに同意しました。それぞれ、連絡者を指定します。今のところ、まず、中国標準化協会によって、秘書処の業務を担います。

9、次回のセミナーの主催方

2004年度の東京セミナーは日本規格協会によって開催する予定です。

三国の標準化協会はそれぞれ一人の連絡者を出して、以上の協力協議が執行される場合の連絡作業を担当します。中国側は中国標準化協会の張秀春 様で、日本側は日本規格協会の若井博雄 様で、韓国の方は韓国標準協会の李景漢 様です。